

なかやま7月号

仙台市中山保育所
平成28年7月

6月中旬に梅雨入りし、梅雨と夏の合間の天気の変化が大きい季節となりました。先日プール開きをし、雨の合間の晴れた日にはうさぎ組きりん組の子ども達を中心に大好きな水遊びも始まりました。水遊びの際は、水とお湯の両方を使い水温を調節したり、1人ひとりの体調を考慮しながら楽しんでいきます。これからが夏本番、夏ならではの解放感たっぷりの遊びを、たくさん楽しんでいきます。



7月・8月の行事

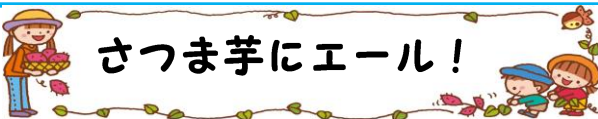


< 7月 >

- 5日(火) きりん組保育参加・懇談会
- 7日(火) 七夕会
- 13日(水) うさぎ組クッキング
- 14日(木) わらべうた(うさぎ組・きりん組)
- 21日(木) おはなし会(うさぎ組・きりん組)
- 30日(土) 夏祭り

< 8月 >

- 4日(木) じゃがいも収穫祭
- 25日(木) わらべうた(うさぎ組・きりん組)



さつまいもにエール!

6月1日にみんなで植えたさつまいも! 数日後あらら…ちよつと元気がない。こりゃ〜大変とさつまいもに水やりをするたびに「が〜んばれ! が〜んばれ!」と子ども達と職員からのエール! みんなの声が届いたようで、根をはり日に日に元気になりました。このまますくすく育ち、10月にはみんなで「わあ〜すご〜い」と喜べるほどの収穫があるといいなあと思っています。



プール開き



6月14日にプール開きをしました。その日は肌寒く残念ながらプールに入る事はできませんでしたが、楽しく遊ぶためのお約束を、アンパンマンのパネルシアターでわかりやすく教えてもらい子ども達からは「約束できる〜守れる〜でも〇〇ちゃん守れない〜」とさまざまな声がありましたが最後には「守れる!」と大きな声で返事をしていました。

お約束を聞いた後はラジオ体操をしてみました。実は、いつも保育所をきれいにお掃除してくれる半澤先生はラジオ体操指導士で、この日みんなにラジオ体操を教えてくださいました。真似ながら踊る子ども達に、懐かしく体操する職員。ラジオ体操は体がシャキッとして気持ちいいものですね。「ラジオ体操第2もした〜い」という声も子ども達からチラホラ聞かれていました。

乳幼児の熱中症 予防について



◎子どもの熱中症の特徴◎

汗をかきにくい(大人より暑さに弱い)

子どもは体温調節機能や汗腺が未発達です。熱くなった血液を皮膚に集め、皮膚が外気(風や日陰の涼しい空気等)に当たる事で体温を下げます。皮膚が赤くなった時は体内に熱がこもっている時です



照り返しの影響を受けやすい

大人より身長が低いいため、地面からの照り返しの影響を強く受けます。大人の顔の高さで32度の時、子どもの顔の高さでは35度くらいはあります。ベビーカーに乗っている時は特に注意が必要です。



自分では予防策が取れない

乳幼児は自分で水分を補給したり、熱いから服を脱ぐなどの暑さ対策は出来ません。水分補給や塩分の補給は大人の役割です。

車内への置き去り

子どもを自動車内に放置したことによる熱中症が後を絶ちません。車内の温度は短時間でも一気に上昇します。冷房をつけていても、何かの拍子で切れる事もあります。季節に関わらず、わずかな間であっても、車内に子どもだけを残さないでください。



◎予防のポイント◎

子どもの異変に敏感になる

顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、涼しい場所で十分な休息を取りましょう。

水をこまめに飲ませる

水分補給は熱中症予防の基本中の基本。水筒やペットボトルを持ち歩くといいですね。

服装を選ぶ

意識的に涼しい服を選びましょう。熱は体の四肢(腕・足)から放出されるので、半袖やランニング、半ズボンが適しています。また、Tシャツをズボンにやスカートに入れるのではなく、ストンと出している方が風が通り、涼しく過ごせます。衣服内に風を通すことが重要です。



日頃から暑さに慣れさせる

本格的に熱くなる前から適度に運動させ、暑さに強い体を作りましょう。いつもエアコンの効いた部屋にいて汗をかかずにいると、暑さに弱くなります。

絶対に車内に子どもを置き去りにしない

ちょっとした間だけだからと油断せず、常に一緒にいてあげる心配りを忘れずに。

～おねがい～

- ❁ 門の上の部分のかぶせる鍵ですが、時々しっかりはまってない時があるようです。子ども達が開けられないように、門の鍵は大人の方がしっかりとはまったのを確認していただきますようお願いいたします。尚、駐車場の出入り口門の工事はもう少しお待ち願います。
- ❁ 汗や水遊びなどで着替えることが多い時期です。なかなか思うように洗濯物が乾かず大変な時期でもありますが、着替えの補充をお願いいたします。